

令和3年度当初予算 福島県東日本大震災子ども支援基金を活用した事業

(単位:千円)

No.	事業名	概要	担当課	当初	うち 基金充当額
1	JFAと連携した人材育成事業	①JFAトップコーチ派遣事業 ふたば未来学園高校サッカー部へ指導者を派遣し指導にあたることで、アカデミー卒校生を始めとする県内の有望選手の受け皿を創出し、ユース年代の育成環境の整備を図る。 ②サッカーを通じた地域連携事業 JFAアカデミー福島の見聞を活用し、県内の子どもたちの健康増進やけが防止の取組を行うとともに、県内外のチームや学校、選手や指導者とサッカーを通じて交流を深めることで県内の子どもたちの健全育成を図るとともに、広い視野を持った人材の育成を図る。	地域政策課	29,563	29,563
2	アートによる子どもの未来プロジェクト	福島県の未来を担う子ども達に将来「新生ふくしま」を推進する人材として活躍してもらうため、県内の小中学校等に、県内外で活躍する本県ゆかりのアーティストを講師に招き、多彩なアートプログラムを体験できるワークショップを開催する。	文化振興課	6,773	6,773
3	「震災・原発の経験・教訓、復興状況伝承事業」(ジャーナリストスクール開催事業)	子どもたちの豊かな感性を育み、将来の福島県を担う人材として育成するとともに、「ふくしまの今」を県内外へ広く発信するため、本県の復興、復旧の現状や地域で復興、復旧に関わる人・団体を直接取材し、新聞記者等から指導を受け新聞にまとめる。作成した新聞を子どもたち自ら発表するとともに、ジャーナリストの池上彰氏から講評してもらう。	生涯学習課	6,392	300
4	東日本大震災・原子力災害伝承館への学習活動支援事業	福島県内の小中学校、高校の児童・生徒が、各教科、特別活動等の教育課程の中で、伝承館を活用して行う学習活動に対して、一定の限度内で補助を行う。	生涯学習課	36,894	36,372
5	未来へはばだけ！スカイスポーツ教室	ふくしまスポーツアンバサダーを務め、県民栄誉賞を受賞したエアロバティック・パイロットの室屋義秀氏を講師に迎え、福島市の飛行場「ふくしまスカイパーク」を会場に、飛行場全体を使用した「飛行場オリエンテーリング」や福島県立テクノアカデミーと連携した「航空ものづくり体験」等の独創的なプログラムによる、親子一緒に楽しむことができる体験型のスカイスポーツ教室を実施する。 また、別日程で「ミニスカイスポーツ教室」を実施し、スカイスポーツの魅力に触れる機会を積極的に提供する。	スポーツ課	8,706	8,706
6	2020東京オリンピック・パラリンピック関連復興推進事業 (東京2020大会感謝発信事業)	東京2020オリンピック野球・ソフトボール競技観戦を通じて福島県内の子どもたちに一生の財産として心に残る機会を提供し、スポーツの力による元気と感動を届けるとともに、子どもたちの応援を通じて世界に向けて復興への感謝を発信する。	オリンピック・パラリンピック推進室	20,151	20,151
7	“医療の仕事”魅力発信事業	小学生(高学年)、中学生、高校生を対象とし、様々な医療職種を学ぶ体験型の機会(出前講座/オンライン体験等)を創出する。	医療人材対策室	13,011	8,943
8	ふくしまの未来をひらく読書の力プロジェクト	中高生を対象にしたビブリオバトル福島県大会を通して、広く県民に対し子どもの読書活動についての理解の促進のための普及活動・啓発活動を実施する。	社会教育課	1,063	1,063
9	ふくしまを十七字で奏でよう絆ふれあい支援事業	子どもたちが様々な体験から得た思いや感動を、身近な人と共有し十七音で表現することで、安心感や自己肯定感を育む。また、震災体験やそれを乗り越えてきた気持ち、ふくしまへの思い等を綴った作品を詠んだり、「ワークショップ」で思いや体験を共有したりする活動を通して、震災の記憶の継承と心の復興の一助とする。	社会教育課	2,286	2,286
10	未来へはばだけ！イノベーション人材育成事業	「福島イノベーション・コースト構想」を周知し、福島への将来の夢や憧れを膨らませるとともに、算数・数学、理科への興味、関心を高め、自分の力を試したり、知見を広げたりするために、論理的な思考力・科学的思考力を問う問題に挑戦する機会や先端技術に触れる機会を設ける。	義務教育課	3,866	935
11	ふくしまからはじめよう。元気なふくしまっ子食環境整備事業(子どもが作る地場産物健康レシピ事業)	小中学生を対象に地元の農産物を活用した料理コンテストを開催し、入賞したレシピを広く県民に発信することにより、子どもたちの食べる力の育成や地元の食材に対する理解を深め、地場産物の活用率の向上につなげる。	健康教育課	1,317	837
12	英語でつなぐ復興の架け橋支援事業	高校生の目線から福島県の復興の現状を学び、考え、広く世界へ発信する過程を通して、福島県の復興のために何をすべきか、積極的に行動できる人材を育成する。	高校教育課	15,250	12,000

令和3年度当初予算 福島県東日本大震災子ども支援基金を活用した事業

(単位:千円)

No.	事業名	概要	担当課	当初	うち 基金充当額
13	双葉地区教育構想(国際人育成プラン)	双葉地区教育構想の基本目標「国際人として社会をリードする人材の育成」の実現のため、スポーツ交流事業としてふたば未来学園の生徒を海外の第一線のクラブへ派遣し、トップアスリートや生涯スポーツ社会のリーダーとして活躍できる人材を育成する。	高校教育課	1,950	1,269
14	地域との協働による高等学校教育改革推進事業	グローバルな課題である原子力災害からの復興と新たな地域社会の創造をテーマとして、地域の課題解決に向けた探究・実践と海外研修を実施し、持続可能な地域づくりに貢献することで、新たな時代を地域から分厚く支えることのできる人材の育成を図る。	高校教育課	12,392	3,660
15	専門高校生による小中学生体験学習応援事業	県内6地区を対象に、小中学生が専門高校を訪れ、専門高校の授業や実習に触れる。その中で、小中学生が専門高校の学習活動への理解を深め、進学意欲を高めるとともに、高校生にとっては、学習内容と将来設計の関連性を再確認し、講師や実習の補助等を行うことにより、自身と誇りを持つことにつながる。この一連の効果によって、福島の将来を担う児童生徒の夢の実現につなげる。	高校教育課	2,993	2,844
16	工業人材スキルアップ事業	工業高校においては、ロボット製作を通してものづくり教育を推進しており、知識・技術をさらに高度化するため、県の施設であるロボットテストフィールドや地域企業、大学等と連携した取組を展開していく。外部の関係機関の方々と連携し先進技術の指導を受ける中で、課題解決の力を身につけるとともに、もの作りの意欲向上をはかり復興を支える人材育成につなげる。	高校教育課	4,111	3,600
17	統合校魅力化発信事業	統合校において、地域が期待するテーマに基づいた「地域をフィールドとした探究学習」を強化し、地域の魅力の積極的な発信や、課題解決対策を市民とともに議論することを通して、地域を支える人材育成を行う。	県立高校改革室	3,260	3,260
18	夢に向かってテクノチャレンジ事業	生徒の社会参加・自立につながる知識・意欲の向上を図り、震災から立ち上がり、自信や向上心をもって生きることができるよう、特別支援学校の生徒が一同に会して日頃の学習の成果を発表する機会を設ける。	特別支援教育課	4,039	4,039
19	地域で支える子育て推進事業	地域の特性を生かした自主的な子育て支援や親支援の活動を促進し、地域全体で子育てを支える機運の一層の推進を図るため、民間団体や市町村の取り組みを支援する。	こども・青少年政策課	21,177	21,177
20	子育て応援パスポート事業	子育て応援パスポート(ファミたんカード)の有効期限に合わせ、カードを更新して対象者に配布するとともに、利用者の利便性を向上させるため、スマートフォンでのカードの電子表示対応ができるようポータルサイトの改修を行う。	こども・青少年政策課	4,280	4,280
21	こどもの夢を応援する事業 (こどもの将来応援事業)	東日本大震災の影響を受けた本県の子どもたちの中には、支援を必要としている世帯に支援が届いていない状況が見られ、親からの貧困の連鎖を断ち切るためにきめ細やかな支援体制が必要である。その対策として小学校1年生、中学2年生に対してリーフレットを配布する。	こども・青少年政策課	3,791	3,791
22	子育て世代包括支援センター機能充実事業	東日本大震災後、県内の産婦の産後うつ傾向が全国平均より高くなっている。妊娠前から子育て期まで切れ目のない支援を行う子育て世代包括支援センターにおいて、全妊婦を対象に物品を配布しながら、支援が必要な家庭の早期把握・早期支援を行う。	子育て支援課	6,460	6,445
23	ふくしま保育環境向上支援事業	質の高い幼児教育に向けセミナーやワークショップを実施し、そこで学んだ課題を保育所で解決し子どもたちに還元する。	子育て支援課	8,325	8,325
24	子どもの目を守る健診体制強化事業	東日本大震災及び原発事故後による環境の変化により、子どもの健康の不安を抱える県民は5割を超えている。「日本一の子育て環境づくり」を目標とする本県としては、他県にない先進的な取組みとして、子どもの健康に対するきめ細やかな対応を行うため、3歳児健康診断の視覚検査に屈折検査を行うことにより早期発見できる環境を整える。	子育て支援課	3,600	3,600

令和3年度当初予算 福島県東日本大震災子ども支援基金を活用した事業

(単位:千円)

No.	事業名	概要	担当課	当初	うち 基金充当額
25	児童養護施設等入所児童自立支援事業	児童養護施設等に入所している児童の自動車運転免許取得を支援することにより、就職先の選択肢の拡大を図り、児童の社会的自立の促進を図る。	児童家庭課	5,700	5,700
26	こどもの夢を応援する事業 (未来に進もう!こどもの夢応援事業)	児童養護施設等を退所し、進学する者について、生活を支援する生活給付金、進学・新生活準備のための入学支度金、住居契約更新等の臨時支出費用のための臨時給付金を給付することで、経済面の安定を図り、自立のための支援を行う。	児童家庭課	29,194	29,194
27	こどもを守る地域ネットワーク推進事業 (子どもを守ろう!見守りサポーター養成事業)	「安心」「自信」「自由」のキーワードで権利について学び、「子どもへの虐待防止プログラム(CAP)」を各地域の幼稚園、保育所、学校等を訪問し実施する。子どもは暴力やいじめなど権利侵害から身を守る方法を身につけ、大人は暴力によらない子育てをできるようにすることで、児童虐待防止対策につなげる。	児童家庭課	5,910	5,910
合計				262,454	235,023